

公益財団法人北海道農業公社
平成24年度 第1回入札監視委員会審議概要

開催日 平成24年4月26日(木)
場 所 公益財団法人北海道農業公社 5階会議室
委員長 伊藤 隆道 (弁護士)
委 員 井上 京 (北海道大学 准教授)
委 員 太田 武司 (公認会計士、税理士)

議事等

1 報告事項

- (1) 本委員会に係る要領等の改正について
- (2) 平成23年度入札結果に関する状況について
- (3) 平成23年度下期(10月～3月)入札結果に関する抽出案件について

2 審議事項

- (1) 平成23年度下期(10月～3月)に関する抽出案件の審議について【総件数6件】

○建設工事【制限付一般競争入札】

ア 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業) 音別地区 第52工区

イ 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業) 白糠地区 第52工区

○建設工事【工事希望型指名競争入札】

ア 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業) 音別地区 第53工区

イ 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業) 白糠地区 第53工区

○建設工事【指名競争入札】

ア 公社営農場リース事業 23忠類地区 第2工区

○委託業務【指名競争入札】

ア 畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業) 本別地区 第3工区

【審議概要】

委員からの意見・質問等、それに対する回答・説明等の概要は次のとおり。

委員からの意見・質問等	回答・説明等
<p>○制限付一般競争入札</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明のあった2件は、同規模で工事内容もほぼ同じように思われるが、一般競争入札参加資格要件について、審議資料1-1では建築工事のB等級、かつ、農業土木工事のC等級以上を有することとしているのに対し、審議資料1-2では農業土木工事の資格要件を不要としている。理由は何か。 ・2件の工事は、ほぼ同じ工事内容で入札執行も同日、同時間に行われているが、審議資料1-2の工区の入札参加者が4者で、もう一方の審議資料1-1の工区の入札参加者が2者なのは、一般競争入札参加資格要件の違いが影響するものか。 <p>○工事希望型指名競争入札</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議資料2-1の技術資料の提出依頼の中で工事概要の記載があるが、工事概要におけるミルクパーラー等の規格・規模はどのように決定するのか。 ・それでは「パラレル」という規格はどうか。審議資料2-1に入札参加希望届についての通知文書があり、その中に実施する工事として具体的なミルクパーラーの規格「タンデム・ヘリングボーン・パラレル・ロータリー」の記載があるがどのように決定しているのか。 ・入札参加希望者によって、規格・機種ごとに得手不得手があるのか。また、農家の意向は反映されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・審議資料1-1の工区につきましては、主たる工事である建築工事の搾乳施設の他に、その施設までの取付道路工事を予定しており、その工事に必要な土木工事の資格要件を付しております。審議資料1-2の工区につきましては、建築工事の搾乳施設のみ工事なので、必要な資格要件は建築工事のみとなっております。 ・はい。審議資料1-2の工区の入札参加4者のうち2者については、農業土木工事の資格が無く、建築工事の資格のみを有する者となっております。 このことから、一般競争入札参加資格要件の違いによる影響は想定されます。 ・まず、記載のある「14頭複列」及び「10頭複列」についてですが、こちらは1回に搾れる牛の頭数です。「14頭複列」は28頭を1度に搾ることができ、「10頭複列」は20頭を1度に搾ることができます。農家の経営規模・頭数に応じて決定しています。 ・(それぞれの規格の構造等について説明する。 搾乳舎の形状や、飼養する頭数・規模に応じて、選択する規格が変わってきます。 ・入札参加希望者の入札参加状況等も勘案しますと、得手不得手があることも想定されます。また、農家の意向などにつきましては、施設機械等仕様検討委員会の中でも検討されております。

委員からの意見・質問等	回答・説明等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ入札参加希望者が双方の工区で、ミルクパーラーについて技術提案しているが、その技術提案内容はほぼ同じであり、規模や所轄する営業所等のみが変わっている状況にあると思われるが、これに意味があるのか。 ・ 技術提案書の書式、記載事項などは決められているのか。 ・ 技術提案書の記載内容は、当該工事に対してどのような影響を与えるのか。 ・ 入札参加に必要な要件として、技術提案書の提出の他に類似工事等の施工実績を求めているが、入札参加希望届提出者は、実績のある者か。 ・ 機械については特殊な物もあり、入札参加希望者も限られていることから、この入札方式が果たして妥当なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 双方の工区の工種・規格・工事場所がほぼ同じ条件であるため、本件についてはある程度類似した内容になると考えられます。 ・ 技術提案書の書式は任意としており、記載事項については大きく分けて3項目とし、「施設等の性能又は機能の特性について」、「工事実施に当たっての環境対策及び安全対策について」及び「受益者対応及び工事工程管理について」について定めております。なお、その他の事項については業者に一任しております。 ・ 入札参加希望者の当該工事に対する技術的適性等を把握するために提出を求めており、工事実施にあたっては技術提案書の記載内容に沿った対応等を求めています。 ・ 実績については、その数に多い少ないはありますが、すべての入札参加希望届提出者に実績はあります。 ・ 本工事は、搾乳舎に附帯する機械器具設置工事であり建設工事として執り進めております。物品等の売買であれば指名競争入札により執行しているところですが、本工事のようなものについては、入札参加意欲のある者に参加していただき、仕様書に基づいて工事を行う、多様な入札方式の中の工事希望型指名競争入札として取り進めております。

委員からの意見・質問等	回答・説明等
<p>○指名競争入札（委託業務）</p> <p>・本件については落札率が非常に低い。低入札価格調査基準価格も設定されていないとのことであるが、委託業務で低入札価格調査基準価格が設定されていない理由について教えて頂きたい。</p>	<p>・まず、最近の委託業務の落札率の状況について説明させていただきます。</p> <p>過去3年間の指名競争入札による落札率の平均は90.0%程度となっており、このうち落札率の低いものを見てみると年2件程度、落札率60～70%程度のものが発生しています。現時点では、これらの低落札業務に係る成果等に支障がないこともあり、低入札価格調査基準価格を設けておりません。</p> <p>ただし、今後も低落札率の発生状況及び低落札業務に係る成果等の状況も踏まえながら、必要に応じて対応していかねばならないとは考えております。</p>

注) 一部重複する確認事項等については除くものとする。

(2) 平成23年度公社入札契約制度に関する入札監視委員会の所管事務総括について

【意見の具申又は勧告】

公益財団法人北海道農業公社入札監視委員会の運営に関する事務処理要領第8に基づく「意見の具申又は勧告」に関し、平成23年度の抽出案件に係る審議又は現地調査の結果から、入札・契約手続の運用状況等について、適切を欠くなど是正すべきことはなかったと判断する。

【再苦情の処理】

公益財団法人北海道農業公社入札監視委員会の運営に関する事務処理要領第9に基づく「再苦情の処理」に関し、平成23年度の工事等における全案件について、再苦情の申立てはなかった。

3 協議事項

(1) 平成24年度入札監視委員会の活動方針について

ア 平成24年度建設工事・委託業務発注予定一覧

イ 平成24年度建設工事発注予定概要

ウ 平成24年度委託業務発注予定概要

エ 平成24年度入札監視委員会の活動方針（案）について

(2) その他

【次回入札監視委員会の開催について】

平成24年度第2回入札監視委員会の開催は、平成24年10月25日(木)公益財団法人北海道農業公社5階会議室で午後1時30分から行う。